

令和4年5月18日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立北郷小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立北郷小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

職員アンケートの結果から

	大いに思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	あまり思わない
英語によるコミュニケーションの基本的な能力の育成につながっていると思いますか。	27%	59%	14%	0%
英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。	45%	50%	5%	0%
外国語や外国の文化に対する興味・関心が高まっていると思いますか。	18%	64%	14%	4%

(4) 学校関係者による評価

<児童>

- 英会話学習を楽しみにしている児童が多い。学校評価の児童アンケートでは、「英会話学習や外国語活動・外国語の授業は、楽しいですか？」の質問に、肯定的な回答が9割以上であった。
- 児童アンケートでは、「先生や友だちの英語を聞いて、だいたいの内容がわかりますか？」の質問に、「分かる」、「少し分かる」と回答した児童が9割以上であった。

<保護者>

- 1年生から英語に触れる機会があるが、「英語に慣れ親しんでいると思う、どちらかというと思う」と感じている保護者は、およそ6割であった。保護者アンケートでは、「英語に親しむ時間を増やしてほしい」、「英単語の練習に力を入れてほしい」などの意見があり、英会話学習への期待が大きい。

4. 実施の効果及び課題

《効果》

- ALTやEAAに親しみ、活動を楽しんでいる様子が見られる。また、学校で会った時に、笑顔で声をかけたり、挨拶をしたりする様子も見られた。
- 英語チャレンジデイは意欲的に取り組めた。また、チャレンジデイをきっかけに、授業だけでなく、家庭でも英語を使う姿が見られるなど、興味・関心の高まりがあった。

《課題》

- 学年が上がるにつれ、英語に対する苦手意識をもつ児童が増えてきた。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- 自己紹介の場や、地域のおすすめを紹介する場、将来の夢を発表する場など発表の準備等の際、タブレットを有効に活用する。
- 低・中学年では、授業の初めに英語の歌を歌い、楽しく慣れ親しむことができるようにする。

- 日頃から英語を見る機会を増やすために、校内の環境を整える。
- 高学年では、授業で意図的にスモールトークや3ヒントクイズを取り入れ、英語によるコミュニケーションの基礎的な能力の育成を図る。